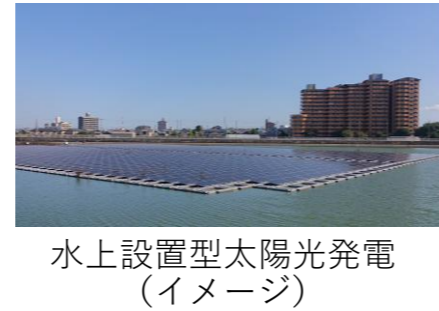


宮城県 県有未利用地（農業用ため池）を活用した県内需要地への太陽光発電電力供給事業について

1 事業の背景・目的

- 県では、「みやぎゼロカーボンチャレンジ2050戦略」等に基づき、未利用地を活用した再生可能エネルギーの導入と県内企業の再エネ活用を推進中です。
- 農政部としても「宮城県みどりの食料システム戦略推進ビジョン」に基づき、持続的な農林水産業の実現に向けて取り組んでいます。
- 今回、県有の農業用ため池を活用（事業者へ貸付け）し、発電した電力を県内需要家へ供給することで、地域共生型の再エネ導入と脱炭素化を促進します。



2 事業スキーム

【今回】R8年度事業（施設整備費補助）



3 事業地

- 色麻町及び大衡村に位置する3か所の県有農業用ため池

位置図		ため池名称・水面面積
	① 除溜池	38,650m ²
	② 焼切溜池	18,470m ²
	③ 柏木溜池	49,190m ²

4 県内産業(需要家)への効果・メリット

- ✓ 追加性のある再エネ調達により排出量削減の実効性向上
→ 県内企業PRに寄与（サステナビリティ情報開示↑・ESG評価↑）
- ✓ 電力価格の長期安定化、地産地消型再エネ、地域貢献も実現



このような事業スキームは東北初 /
地域・企業・県の連携の取組として
【県内企業×宮城県】で対外的にPRも！